

出張報告書

令和4年10月24日

市議会議長 西田 武史 様

会 派 名 きしわだ未来

代表者氏名 反甫 旭

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 全国都市問題会議出席のため
- 2 出 張 先 長崎県長崎市
- 3 出張期間 令和4年10月13日～10月14日
- 4 出張者氏名 反甫 旭
- 5 てん末報告 別紙の通り

第 84 回全国都市問題会議（出島メッセ長崎）

10/13(木)

【基調講演】

民間主導の地域創生の重要性：株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO 高田旭人

【主報告】

長崎市の魅力あるまちづくり：長崎県長崎市長 田上富久

【一般報告】

地域との新しい関わり方・関係人口：島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美

ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市を」目指して～：山形県山形市長 佐藤孝弘

「交流の産業化」を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み～：

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾忠志

10/14(金)

【パネルディスカッション】

テーマ：個性を活かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～

コーディネーター：東京都立大学法学部教授 大杉寛

パネリスト：ゆとり研究所所長 野口智子

山梨大学生命環境学部教授 田中敦

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕一

岐阜県飛騨市長 都竹淳也

兵庫県伊丹市長 藤原保幸

【考察】

今回の会議で最も印象に残っていることが移住人口の増加を目指すのではなく、交流人口の増加を目指すべきという考えである。今回のような全国的な規模の会議になるとどうしても地方と都会という二択しかない政策が述べられやすいので、岸和田市のような大阪都市圏の衛星市では参考になりにくいところもあった。ただ、この交流人口を増やすという考えは人口減少が顕著である岸和田市にも大いに参考になる考えだと感じた。岸和田市も人口増加を目指しているところではあるが、移住人口を増やすということは容易なことではない。だんじり祭りなどの文化のおかげもあり、岸和田市は全国的な知名度もある。そうした点からもこの交流人口を増加させ、岸和田市のファンを作り、そのことから移住人口の増加にも転じる施策を今後、考えていきたい。



以上